

【Q】 「新規DBの作成(複写)」の処理手順を教えてください。

【A】 「新規DBの作成(複写)」の処理手順は、下記の 2 ケース（「1. 通常の場合」と「2. 注意が必要なケース」）があります。

※3月決算の例で説明します。（前期が令和 2 年 3 月期、当期が令和 3 年 3 月期）

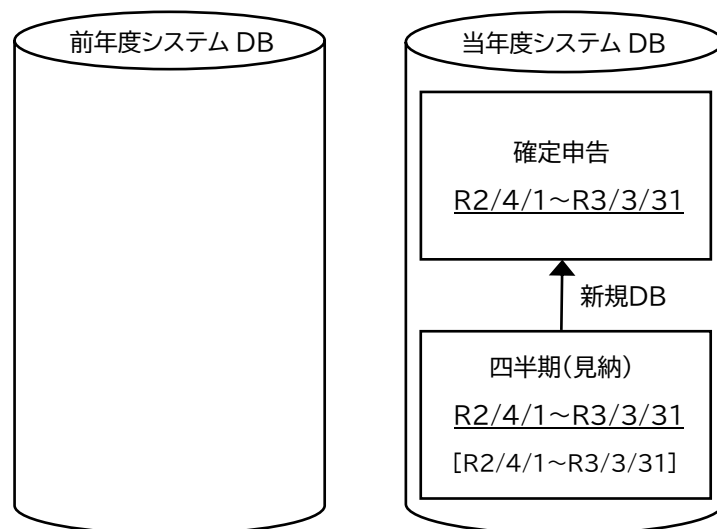
1. 通常の場合

【ご参考】[オンラインQ&A:0098146](#) のリンク先のPDFの「新規DBの作成(複写)」の

「IV 通常の場合」

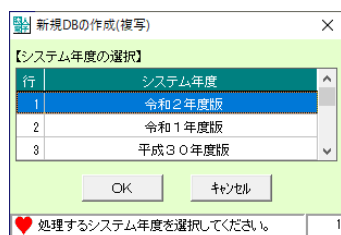
(1) 処理イメージ

期	当期	当期
システム	当年度版 (令和2年度版)	当年度版 (令和2年度版)
事業年度	<u>R2/4/1~R3/3/31</u>	<u>R2/4/1~R3/3/31</u>
処理区分 (データ名)	月次試算・四半期試算 (見納)	確定申告
計算処理期間	R2/4/1~R3/3/31	
備考	新規DB時に選択するシステム年度は、 作成先の当年度版(令和2年度版)を選択します。	



(2) 処理手順

- ① 運用管理システムの「22.新規DBの作成(複写)」ボタンをクリックします。
- ② [作成\(複写\)先のシステム年度](#)(当該例では令和 2 年度版)を選択し、OKをクリックします。



(※1)作成(複写)先のシステム年度が表示されない場合は、パソコンに当該年度のシステムがインストールされていないためです。

【ご参考】[オンラインQ&A:0098160](#)の「2. 新規DBの作成(複写)を行う…必要があります。」

(※2)利用システムと事業年度については、下記をご参照ください。

【ご参考】[オンラインQ&A:0089780](#)のリンク先のPDF

- ③ 「新規DBの作成(複写)」を行う対象法人を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

(※)グループ利用の場合は、「新規DBの作成(複写)」を行う法人を1社選択します。

(複数法人の一括新規 DB はできません。)

- ④ 作成(複写)先データの情報を設定します。

1)「事業年度」欄

作成(複写)先の事業年度を設定します。(当該例は令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(※1)事業年度は処理区分に依らず同一です。

(※2)期末日を間違えて設定された場合は、後から期末日を変更できます。

【ご参考】[オンラインQ&A:0089832](#)の「Ⅰ 2. 期末の変更」

(注 1)「月次試算・四半期試算」の場合に、間違えて事業年度の期末に計算期間の期末を設定しないようご注意ください。

(例)事業年度が令和2年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日で、第一四半期のデータの
[計算処理期間]が令和2年 4 月 1 日～令和2年 6 月 30 日の場合など

(注 2)決算月変更や被合併法人等の最後事業年度などのみなし事業年度の場合は、事業年度の期末にご確認ください。

(注 3) 事業年度の期間が一日のデータは作成できません。

【ご参考】[オンラインQ&A:0089830](#)

2)「処理区分」欄

作成(複写)先の処理区分を設定します。(当該例では確定申告です。)

作成できる処理区分は、下記をご参照ください。

【ご参考】[オンラインQ&A:0098162](#)

3)「ケース名」欄

「月次試算・四半期試算」や「修正申告」の場合に設定します。

(※)「ケース名」欄は、複数のデータが作成できる「月次試算・四半期試算」と「修正申告」の場合に設定できます。

【ご参考】ケース名の変更

ケース名の変更は、「月次試算・四半期試算」と「修正申告」で行えます。

ASP1000R でケース名を変更したいデータにログインし、「F8 補助機能」の「ケース名の修正」から行います。

(※)「ケース名の修正」は、[すべての業務]の権限を有するユーザーのみ処理可能です。

4)「計算期間」欄

「月次試算・四半期試算」の場合に設定します。

(例) 第 1 四半期の場合は、令和2年 4 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日(3 ヶ月間)

減価償却の月数や均等割の月数など、税額計算は当該計算期間をベースに計算されます。

⑤ 複写元のデータを選択します。

(※1)複写元に指定できる処理区分は、下記をご参照ください。

【ご参考】[オンラインQ&A:0098162](#)

(※2)「複写元となるデータが存在しません。」と表示される場合は、下記をご参照ください。

【ご参考】[オンラインQ&A:0089784](#)の「2. 新規DBの作成(複写)」の場合」

⑥ 作成(複写)元と作成(複写)先の情報に誤りがないことを確認し、間違いがなければ「複写」ボタンをクリックします。

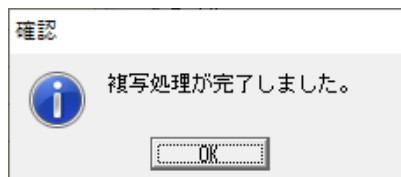
(※1)中間申告(仮決算)、予定申告、及び確定申告データは1つしか作成できないため、作成(複写)元と作成(複写)先に間違いがないかご確認ください。

【ご参考】[オンラインQ&A:0089792](#)

(※2)更新処理のやり直しはできないためご注意ください。

【ご参考】[オンラインQ&A:0089280](#)

- ⑦ 作成(複写)処理が完了した旨のメッセージが表示されたら処理完了です。



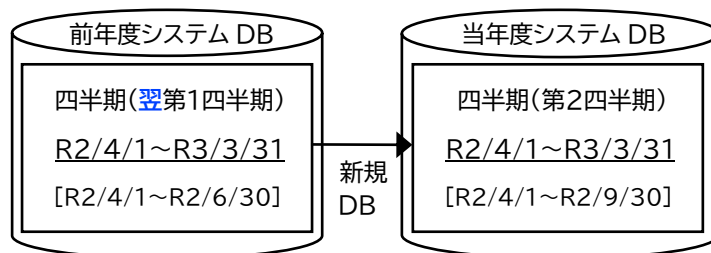
- ⑧ 作成(複写)先の年度版システム(当該例では令和 2 年度版システム)を起動し、作成(複写)先のデータが作成されていることを確認します。

2. 注意が必要な場合

【ご参考】[オンラインQ&A:0098146](#) のリンク先のPDFの「新規DBの作成(複写)」の
「Ⅲ 注意が必要なケース」

(1) 処理イメージ

期	当期	当期
システム	前年度版 (令和元年度版)	当年度版 (令和2年度版)
事業年度	R2/4/1~R3/3/31	R2/4/1~R3/3/31
処理区分 (データ名)	月次試算・四半期試算 (翌 第1四半期)	月次試算・四半期試算 (第2四半期)
計算処理期間	R2/4/1~R2/6/30	R2/4/1~R2/9/30
備考	新規DB時に選択するシステム年度は、 作成先の当年度版(令和2年度版) を選択します。	

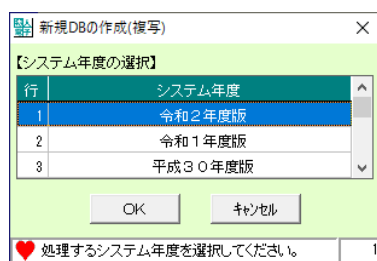


(2) 処理手順

処理手順は、上記1. (2)の通常の場合と下記の2点を除き同様です。

- ① 【システム年度の選択】画面で、[作成\(複写\)先の当年度版システム](#)(当該例では令和2年度版)を
[選択](#)します。

※【システム年度の選択】画面は、どの年度版システムのDBにデータを作成するか指定します。



- ② 「3. 複写元の選択」画面で、前年度システムで作成済の当期データ「[四半期\(翌第1四半期\)](#)」を
[選択](#)します。

The screenshot shows a web application window titled '令和2年度法人電子申告システム(ASP10000)'. It has a progress bar with four steps: 1. 法人の選択 (selected), 2. 事業年度・処理区分の選択, 3. 複写元の選択 (highlighted in yellow), and 4. DB作成(複写). Below the progress bar, the '法人名' (Company Name) is set to 'テスト法人'. A table titled '【複写元一覧】' (Copy Source List) displays the following data:

処理区分	事業年度	ケース名
月次試算・四半期試算	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日	三第1 Q

Below the table, there is a message: '▲ 複写元を選択します。' (Select a copy source). At the bottom, there are buttons for '戻る (B)' (Back), '次へ (N)' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). A red heart icon and a note at the bottom left state: '♥ 複写元となるデータを選択してください。' (Please select the data to be copied).

(注)前年度システムで作成した当期のデータを作成(複写)元に指定できるのは、
当年度システムに初めて「新規DBの作成(複写)」を行う最初の1度のみです。
【ご参考】[オンラインQ&A:0098160](#)の「1. 前年度システムで作成済の当期のデータ…」